

国内トッププレイヤーによる

NTT西日本 「ふれあいソフトテニス教室」 in 海士町の開催について

～NTT西日本広島ソフトテニスクラブ 監督・コーチ・プレイヤーが直接指導～

NTT西日本島根支店(支店長 猿渡 徳一)では、国内外のソフトテニス大会において活躍している国内ランキング1位の男女プレイヤーによる、「ふれあいソフトテニス教室」を海士町で開催いたします。

このソフトテニス教室は、スポーツ振興を通じたNTT西日本の地域貢献活動の一環として、青少年の健全な育成を目的に実施するもので、海士町・西ノ島町・知夫村の中・高校生及び一般同好会の約90名を対象に、NTT西日本広島ソフトテニスクラブの監督・コーチ・現役プレイヤー計12名が、基本練習から応用練習までの実技指導を行うほか、ソフトテニスクラブ所属プレイヤーによる公開試合を行い、参加いただく皆さんとふれあいを深めながらソフトテニスのレベルアップを図っていくものです。

概要は、以下のとおりです。

1. 日 時 2011(平成23)年4月16日(土) 8:30～12:30
2. 場 所 海士町運動公園(多目的運動広場)テニス場 (隠岐郡海士町大字海士3967-5)
※雨天時は、島根県立隠岐島前高等学校 体育館で開催します。
3. 主 催 NTT西日本島根支店
4. 協 力 海士町
5. 講 師 NTT西日本広島ソフトテニスクラブ
(中本総監督・藤川男子監督・堀越コーチ・男子プレイヤー 5名・女子プレイヤー 4名)
6. 参 加 者 海士中学校、西ノ島中学校、知夫中学校、隠岐島前高等学校 及び 一般同好会
7. 開催内容
 - ・開会式
 - ・ウォーミングアップ
 - ・実技指導(基本～応用練習)
 - ・エキシビジョンマッチ(国内トッププレイヤーによる公開試合)
 - ・閉会式
8. その他 見学は自由です。

NTT西日本広島ソフトテニスクラブ 監督・コーチ（プロフィール）

中本 裕二（なかもと ゆうじ）

NTT西日本広島ソフトテニスクラブ 総監督・女子監督

前（財）日本ソフトテニス連盟・日本代表女子監督

<プロフィール>

- ・広島県呉市音戸町出身。
- ・1982年当時の日本電信電話公社に入社、現在に至る。
- ・現役時代1983年には、ソフトテニス全日本実業団優勝・日本リーグ優勝・王座決定戦優勝の3冠王をはじめ、数々の優勝を経験。
- ・指導者としても、NTT西日本総監督として、史上初の記録を達成するなど全国トップレベルの広島ソフトテニス界を牽引。
- ・また、豊富な経験・実績は日本ソフトテニス界においても欠かせない人材となった。
- ・現在は、広島県ソフトテニス連盟副理事長を務めながら、広島県を中心に全国を飛び回り、地域と連携した指導体制の元、ソフトテニス教室・講演会活動を精力的に行うなど、ソフトテニスの振興と普及に努めている。
- ・2007年には、生涯スポーツ功労者として文部科学大臣表彰を受賞。
- ・2010年は、日本代表女子監督として念願のアジア競技大会（広州）にて金メダルを獲得。

藤川 幸徳（ふじがわ ゆきとく）

NTT西日本広島ソフトテニスクラブ 男子監督

<プロフィール>

- ・広島県広島市出身。
- ・1992年入社、現在に至る。
- ・現役時代1998年には、ソフトテニス全日本実業団優勝・日本リーグ優勝をはじめ、数々の優勝を経験。
- ・指導者としても、NTT西日本広島男子監督として、史上タイ記録の全日本実業団3年連続優勝を達成するなど全国トップレベルの広島ソフトテニス界を牽引。
- ・現在は、広島県ソフトテニス連盟常務理事や広島県国体強化部長も務めながら、広島県を中心に全国を飛び回り、地域と連携した指導体制の元、ソフトテニス教室・講演会活動を精力的に行うなど、ソフトテニスの振興と普及に努めている。
- ・2007年・2008年・2010年 最優秀監督賞受賞。
- ・2009年 広島県教育奨励賞受賞。

堀越 敦子（ほりごし あつこ）

NTT西日本広島ソフトテニスクラブ 女子コーチ

<プロフィール>

- ・広島県広島市出身。
- ・1999年当時のNTT中国テレコムサービスに入社、現在に至る。
- ・現役時代2004年の地元広島県で開催された、皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会優勝を皮切りに、2005年（神奈川県）・2008年（青森県）と3度の皇后賜杯を獲得している。
- ・国際大会は、2003年同じく地元広島県で開催された、世界選手権大会に出場後、5度の国際大会を経験し数多くのメダルを獲得した。
- ・2008年に現役選手を引退後、女子チームのコーチへ就任。

NTT西日本広島ソフトテニスクラブ選手 < 戦績 >

<p>中堀 成生 (ナカホリ ナオ) 日本ランキング 1位 (ダブルス)</p> <p>中央大学出身 【兵庫県】</p> <p>H22 全日本実業団 優勝</p> <p>H22 天皇・皇后賜杯全日本選手権大会 優勝 (最多9回)</p> <p>H22 アジア競技大会国別対抗戦 銀メダル ダブルス銅メダル</p> <p>H22 日本リーグ 優勝</p> <p>H21 全日本実業団 優勝</p> <p>H21 国民体育大会 準優勝</p> <p>H21 天皇・皇后賜杯全日本選手権大会 優勝 (最多8回)</p>	<p>高川 経生 (タカガワ ツネ) ランキング 1位 (ダブルス)</p> <p>日本体育大学出身 【東京都】</p> <p>H22 全日本実業団 優勝</p> <p>H22 天皇・皇后賜杯全日本選手権大会 優勝 (最多9回)</p> <p>H22 アジア競技大会国別対抗戦 銀メダル ダブルス銅メダル</p> <p>H22 日本リーグ 優勝</p> <p>H21 全日本実業団 優勝</p> <p>H21 国民体育大会 準優勝</p> <p>H21 天皇・皇后賜杯全日本選手権大会 優勝 (最多8回)</p> <p>H21 日本リーグ 3位</p>
<p>堀 晃大 (ホリ アキラ) <主将> 日本ランキング 9位 (ダブルス)</p> <p>日本大学出身 【長崎県】</p> <p>H22 全日本実業団 優勝</p> <p>H22 天皇・皇后賜杯全日本選手権大会 ベスト8</p> <p>H22 日本リーグ 優勝</p> <p>H21 全日本実業団 優勝</p> <p>H21 日本リーグ 3位</p>	<p>長江 光一 (ナガエ ヒロ) 日本ランキング 9位 (ダブルス)</p> <p>早稲田大学出身 【岡山県】</p> <p>H22 全日本シングルス 準優勝</p> <p>H22 第9回チャイニーズカップ ダブルス優勝</p> <p>H22 全日本実業団 優勝</p> <p>H22 天皇・皇后賜杯全日本選手権大会 ベスト8</p> <p>H22 日本リーグ 優勝</p> <p>H21 全日本シングルス 優勝</p> <p>H21 全日本大学対抗選手権 優勝 (3年連続)</p>
<p>村上 雄人 (ムラカミ ユウ)</p> <p>愛知学院大学出身 【愛知県】</p> <p>H22 西日本選手権大会 第3位</p> <p>H22 西日本学生選手権大会 優勝</p> <p>H22 全日本インドア選手権大会 第3位</p> <p>H22 中山盃 (台湾) 国際ソフトテニス大会 ダブルス 準優勝</p> <p>H21 天皇賜杯・皇后賜杯・全日本選手権大会 第3位</p> <p>H21 全日本大学対抗選手権 第3位</p> <p>H21 全日本学生選手権大会 ベスト16</p> <p>H20 天皇賜杯・皇后賜杯・全日本選手権大会 ベスト16</p>	
<p>大庭 彩加 (オオバ アヤカ) <主将> 日本ランキング 1位 (ダブルス)</p> <p>岡山就実高校出身 【岡山県】</p> <p>H22 全日本女子選抜大会 優勝</p> <p>H22 全日本シングルス 第3位</p> <p>H22 天皇・皇后賜杯全日本選手権大会 優勝</p> <p>H22 アジア競技大会国別対抗戦 金メダル ダブルス銅メダル</p> <p>H22 全日本インドア大会 優勝</p> <p>H21 全日本大阪インドア 3位</p>	<p>佐々木 舞 (ササキ マイ) 日本ランキング 1位 (ダブルス)</p> <p>札幌龍谷学園高校出身 【北海道】</p> <p>H22 全日本女子選抜大会 優勝</p> <p>H22 天皇・皇后賜杯全日本選手権大会 優勝</p> <p>H22 アジア競技大会国別対抗戦 金メダル ダブルス銅メダル</p> <p>H22 全日本インドア大会 優勝</p> <p>H21 全日本東京インドア 優勝</p> <p>H21 全日本インドア大会 優勝</p>
<p>埴田 光理 (ヌシダ ヒかり) 日本ランキング 12位 (ダブルス)</p> <p>尽誠学園高校出身 【鳥取県】</p> <p>H22 第9回チャイニーズカップ ダブルス優勝</p> <p>H22 全日本シングルス 第3位</p> <p>H22 全日本社会人選手権 第3位</p> <p>H22 天皇・皇后賜杯全日本選手権大会 ベスト16</p> <p>H21 全日本女子選抜 4位</p>	<p>水間 奈津紀 (ミヅマ ナツキ)</p> <p>常盤木学園高校出身 【宮城県】</p> <p>H22 全日本シングルス ベスト8</p> <p>H22 全日本実業団 ベスト8</p> <p>H22 日本リーグ 第4位</p> <p>H21 全日本女子選抜シングルス 3位</p>

※ ランキング は、2010年度の日本ランキングです。